

（案）

第2次日向市総合計画・後期基本計画

第3部 基本計画

第1章 施策体系図

第2章 重点戦略と重点プロジェクト

※未定稿

指標、目標値は仮入力の状態です。

令和2年10月29日時点

基本計画（改訂案）

第1章 施策体系図

	【将来像】	【基本目標】	【施策】	【具体的な施策】
毎・山・人がつながり 笑顔で暮らせる元気なまち くらしのクワンタン ヨウキ	【教育文化】 ふるさとを愛し心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち	1-1 生きる力を育む教育の推進 1-2 魅力ある教育体制や環境の充実 1-3 地域が一体となった青少年の育成 1-4 社会教育の推進 1-5 図書館サービスの充実 1-6 地域文化の保存・継承・活用 1-7 スポーツ活動の推進と環境づくり 1-8 人権・平和の尊重 1-9 男女共同参画社会づくり 1-10 国際化への対応と国際交流の推進	1-1 ①幼児教育の充実 ②小学校・中学校教育の充実 ③特別支援教育の充実 ④高校や大学等との連携強化 1-2 ①児童生徒の相談支援体制の充実 ②児童生徒の健康づくりの推進 ③学校給食の充実 ④安全で安心な教育環境の充実 1-3 ①青少年教育の充実 ②青少年の健全育成 1-4 ①生涯学習環境の充実 ②公民館活動の充実 ③自主学級活動の充実 ④社会教育団体の育成 1-5 ①図書館機能の充実 ②読書活動の推進 1-6 ①芸術文化活動の推進 ②文化財等の保存・継承・活用 ③地域の先人の顕彰と活用 1-7 ①生涯スポーツの推進 ②競技スポーツの推進 ③スポーツ施設の整備と活用 1-8 ①人権・同和教育の推進 ②人権・同和行政の推進 ③平和教育の推進と啓発活動 1-9 ①男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備 ②あらゆる分野における女性の活躍 ③安全・安心な暮らしの実現 1-10 ①国際感覚豊かな人材の育成 ②国際交流の推進 ③外国人が安心して暮らせる環境の整備	
	【健康福祉】 市民が共に支え合い、自立した生活を送る健康長寿のまち	2-1 安心して子どもを生み育てられる環境づくり 2-2 健康に暮らせるまちづくり 2-3 高齢者福祉の充実 2-4 障がい者福祉の充実 2-5 地域福祉の充実と生活支援 2-6 社会保障制度の安定運営	2-1 ①妊娠・出産環境の充実 ②乳幼児の健康・育児に対する支援の充実 ③子育て支援制度の充実 ④子育てと仕事の両立支援 ⑤家庭・地域の子育て力の充実 ⑥ひとり親家庭への支援 ⑦要保護児童等に対する支援事業の充実 2-2 ①保健対策の充実 ②医療体制の確保 2-3 ①高齢者の社会参加と生きがいづくり ②地域で暮らし続けるための支援サービスの充実 ③介護サービスの充実と持続可能な制度運営 2-4 ①権利擁護の推進 ②地域生活の支援 ③社会参加の促進 2-5 ①地域福祉の推進 ②生活支援と自立の促進 ③子どもの未来を応援する施策の推進 2-6 ①国民健康保険制度の適正な運営 ②後期高齢者医療制度の適正な運営 ③国民年金制度の適正な運営	
	【産業振興】 新たな挑戦で活力ある産業が育ち、元気な人が集うまち	3-1 農業の振興 3-2 林業・木材産業の振興 3-3 水産業の振興 3-4 商工業の振興 3-5 雇用の確保と創出 3-6 企業誘致と次世代産業の育成 3-7 地域を活性化する観光の振興	3-1 ①担い手の育成・確保 ②地域資源を生かした特産物の振興 ③経営安定対策の推進 ④畜産の振興 ⑤農村環境の維持と生産基盤の整備 ⑥環境保全型農業の推進 ⑦農地集積の推進 ⑧荒廃農地の解消 3-2 ①生産基盤の整備 ②林業経営の改善 ③木材利用拡大の推進 ④森林の適正な管理の推進 3-3 ①水産資源を守り増やす取組の推進 ②漁業の経営基盤強化 ③内水面漁業の振興 3-4 ①活力ある商業の振興 ②高度な技術力を生かした工業の振興 3-5 ①就業の場の確保と雇用の創出 ②産業人材の育成 ③労働者福祉の向上 3-6 ①企業誘致の推進 ②新たな産業の育成支援 3-7 ①受入態勢の整備とおもてなしの充実 ②観光消費拡大の仕掛けづくり ③効果的な情報発信とプロモーション ④観光産業を担う組織や人材育成・強化 ⑤地域資源を活用したスポーツ交流の拡大	
	【生活環境】 自然を守り、安全で安心な環境で心豊かに暮らせるまち	4-1 消防体制の充実 4-2 防災体制の充実 4-3 安全・安心な生活環境の確保 4-4 循環型社会の実現 4-5 自然環境の保全と活用 4-6 安全で安定した水の供給 4-7 生活排水の適切な処理 4-8 快適な住宅環境の整備	4-1 ①警防・救急体制の充実 ②消防団体制の充実 4-2 ①災害予防対策の推進 ②災害に強いまちづくり 4-3 ①防犯対策の推進 ②交通安全・水難事故防止対策の推進 ③消費者教育・啓発の推進 ④生活相談体制の充実 ⑤衛生対策の推進 4-4 ①ごみの発生抑制と再利用の推進 ②ごみの適正処理の推進 ③安全で適正な処理体制の構築 4-5 ①自然環境の保全 ②河川・海岸の保全 ③公害対策の推進 ④資源・エネルギー対策の推進 4-6 ①安全で良質な水の安定供給 ②水道事業経営の健全化 4-7 ①公共下水道事業の推進 ②農業集落排水事業の推進 ③合併処理浄化槽の普及と適正管理 4-8 ①市営住宅の整備と維持管理 ②安全で安心な建築物の整備促進 ③空き家の適正管理と活用の促進	
	【社会基盤】 快適で魅力ある機能的な住みやすいまち	5-1 秩序ある土地利用と都市空間の形成 5-2 生活の質を高める都市基盤の整備 5-3 利便性の高い道路の整備 5-4 美しい景観の保全と形成 5-5 港湾機能の充実と活用 5-6 情報通信基盤の整備と情報化の推進	5-1 ①計画的な土地利用の推進 ②コンパクトな拠点の整備 ③交通ネットワークの充実 5-2 ①良好な住環境の整備 ②憩いのある公園・緑地の整備 5-3 ①広域交通網の整備促進 ②市道の整備と維持管理 5-4 ①景観まちづくりの推進 ②緑花あふれる美しい風景づくり 5-5 ①港湾の整備 ②物流体制とポートセールの強化 5-6 ①情報通信基盤の整備 ②情報通信技術（ICT）利活用の促進 ③情報セキュリティ対策の強化	
【地域経営】 市民一人ひとりが地域とつながる市民協働のまち	6-1 市民との協働の推進と地域活動の活性化 6-2 中山間地域の活性化と移住の促進 6-3 市民に信頼される行政サービスの提供 6-4 効果的・効率的な行政経営の推進 6-5 未来につなげる財政運営	6-1 ①地域コミュニティの活性化 ②NPOの育成・支援 6-2 ①中山間地域の活性化 ②移住の促進 6-3 ①広報・広聴活動の充実 ②職員の育成 ③市民に開かれた市役所づくり ④情報公開と個人情報保護 6-4 ①計画的な行政経営の推進 ②行政運営の効率化の推進 ③公共施設の最適化と適切な管理 ④広域連携の推進 6-5 ①適正な財政運営 ②自主財源の確保 ③適正な公金管理と運用		

基本計画（改訂案）

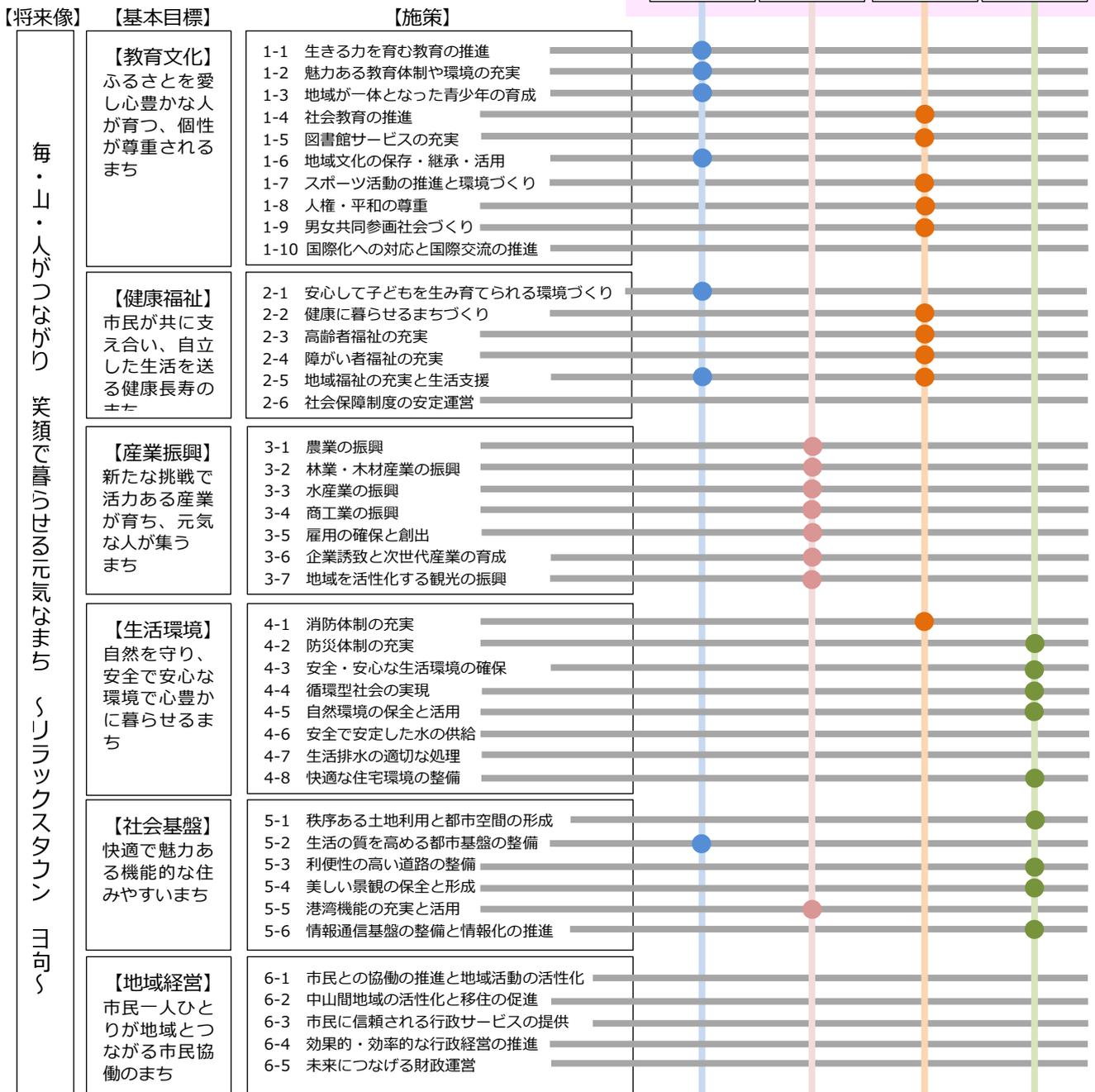
■基本計画の施策と重点戦略の関係

未修正

【重点戦略】

若者と女性に選ばれるまち“日向”未来づくり

戦略1： 未来へつなげるひとづくり ①教育 ②子育て支援 ③人材育成	戦略2： 活力を生み出すにぎわいづくり ①しごと ②強みの活用 ③交流・移住	戦略3： 笑顔で暮らせる地域共生のまちづくり ①医療・福祉 ②健康づくり ③支え合い	戦略4： 自然豊かで快適な強いまちづくり ①防災 ②コンパクトシティ ③環境共生
---	---	---	---



基本計画（改訂案）

第2章 重点戦略と重点プロジェクト

1. 重点戦略、重点プロジェクトの位置づけと目的

基本構想の将来像である『海・山・人がつながり 笑顔で暮らせる元気なまち-リラックスタウン日向-』を実現するためには、教育文化、健康福祉、産業振興、生活環境、社会基盤整備、地域経営など、全ての分野において総合的に施策を展開していく必要があります。

しかしながら、限られた経営資源（人・もの・金）の中で効果を上げるためには「選択と集中」による施策の推進が必要です。そのため、本計画期間内に優先的かつ重点的に取り組む施策を“重点戦略”に位置づけ、それぞれに“重点プロジェクト”を設定することにより、本市がかかえる4つの重点課題を効果的・効率的に解決し、“笑顔で暮らせる元気なまちづくり”を実現していくことを目的とします。

2. テーマと構成

人口減少・少子高齢化が加速する中で、活力ある地域を維持していくためには、将来の本市のまちづくりの原動力となる「若者」に焦点を当て“若者に選ばれるまちづくり”を推進するとともに、「女性」の育児や介護などの負担を軽減し、社会で活躍できる環境の充実を図る必要があります。

このため、後期基本計画の重点戦略は、『若者と女性に選ばれるまち“日向”未来づくり戦略』と設定し、以下の4本の柱となる戦略と12本の重点プロジェクトを推進します。

重点プロジェクトは、基本計画の諸施策の中から関連する事業を相互に結び付けながら実施することにより効果を高めるものです。

なお、重点プロジェクトについては、社会経済情勢の変化に応じて、新たに重点的・集中的に取り組む必要がある課題が生じた場合は見直すこととします。

【テーマ】

若者と女性に選ばれるまち
“日向”未来づくり戦略

【4つの重点戦略】

戦略1：未来へつなげるひとづくり

戦略2：活力を生み出すにぎわいづくり

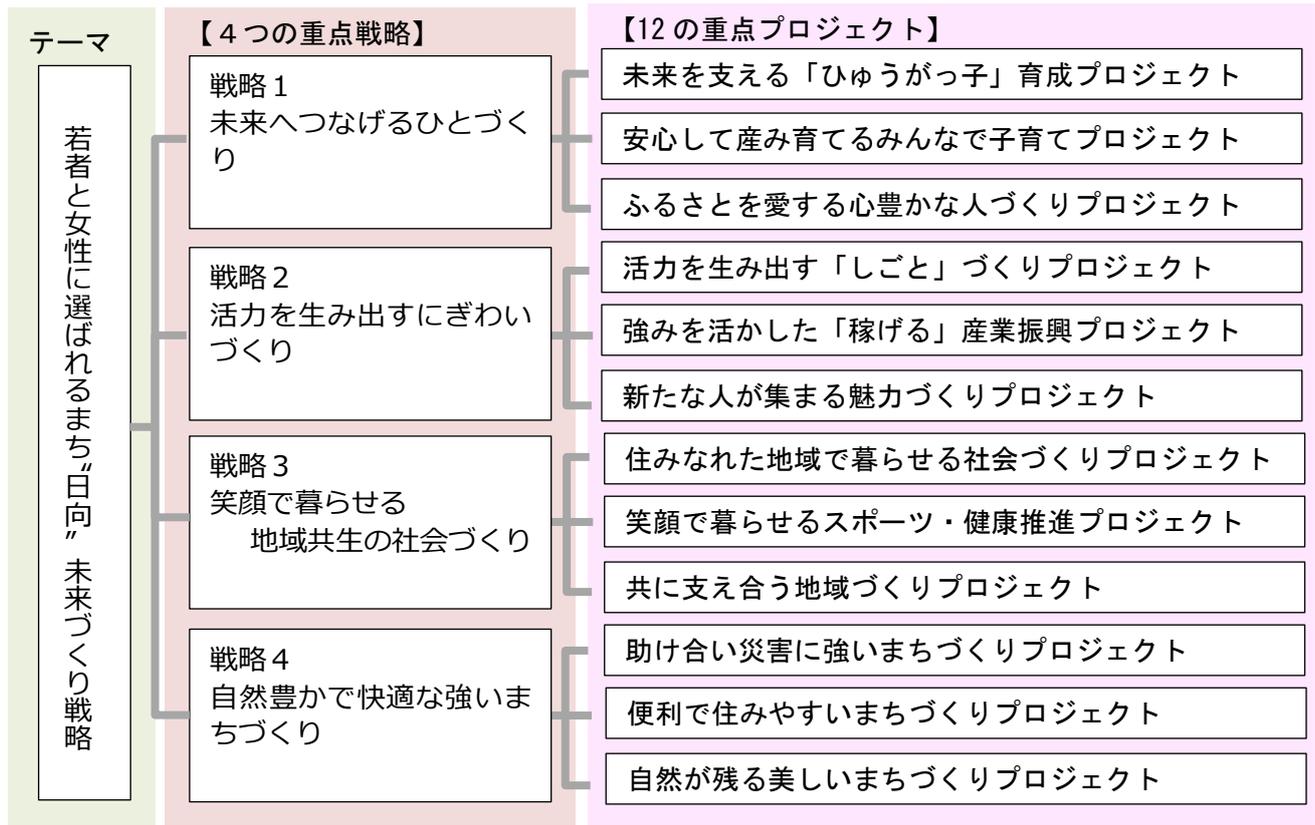
戦略3：笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり

戦略4：自然豊かで快適な強いまちづくり

【重点プロジェクトの選定の視点】

- ◆まちづくりの重点課題を解決するため、緊急的かつ優先的に取り組む必要がある施策
- ◆市民の関心が高く、強く求めてられている施策
- ◆事業規模が大きく、長期的に取り組む必要がある施策
- ◆国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき地方創生に資する施策

基本計画（改訂案）



基本計画（改訂案）

2. 重点戦略と重点プロジェクト

※修正依頼中

重点戦略 1

未来へつなげるひとづくり

基本的な方向性

学力向上や教育環境の充実などふるさとに愛着と誇りが持てる教育環境を整えるとともに、子育て環境の充実や女性の仕事と子育ての両立支援など社会全体で子育てを支援する環境の充実を図り、地域の多様な活動を支える人材育成など本市の未来へつなげる人づくりに取り組みます。

※各ページの“指標”は、仮に入れているものです。

数値目標

指標名	実績値	基準値	目標値
	平成 27(2015 年)年度	令和 1 (2019) 年度	令和 6 (2024) 年度
市内から通学する高校 3 年生のうち「将来日向市に住みたい」と答えた割合	—	26.1%	30.0%
中学校 2 年生「将来日向市に貢献したい」と思う生徒の割合	%	%	%
合計特殊出生率 ※要検討	1.79	1.81	1.91

重点プロジェクト

1-1 未来を支える“ひょうがっ子”育成プロジェクト

【基本的な方向性】

※各ページの“主な取組”は、仮に入れているものです。

- 学校・家庭・地域が一体となって、生きる力を備えた未来を支える“ひょうがっ子”を育成します。
- 学校 ICT や外国語授業など、子どもの学力向上に向けた教育の推進に取り組みます。
- 少子化を見据えた適切な通学区域の在り方について検討します。
- 児童生徒の心のケアの充実を図り、誰もが学べる教育環境の充実に取り組みます。
- 子どもから大人まで読書に親しむ機会の充実や環境の充実に取り組みます。

【SDGs のゴール】 ※事務局記入欄

重要業績評価指標 (KPI)	実績値	基準値	目標値
	平成 27(2015 年)年度	令和 1 (2019) 年度	令和 6 (2024) 年度
授業の内容がよく分かったと答えた児童生徒の割合	74.2%	89.0%	90.0%

基本計画（改訂案）

不登校児童生徒が学校に復帰した割合	25.0%	26.8%	29.1%
小学生、中学生が1か月間に読む読書冊数（平均）	小学生 12.2 冊 中学生 3.6 冊	小学生 13.6 冊 中学生 3.9 冊	小学生 15.0 冊 中学生 4.2 冊

【具体的な施策】

- 1 生きる力を育む教育の推進
- 2 魅力ある教育体制や環境の充実
- 3 読書活動の推進

重点プロジェクト

1-2 安心して産み育てるみんなで子育てプロジェクト

【基本的な方向性】

※各ページの“主な取組”は、仮に入れているものです。

- 妊娠期から出産後の新生児期・乳幼児期などライフステージごとに、切れ目のない医療や保健福祉サービスを提供し、安心して産み育てられる環境づくりに取り組みます。
- 子育て世代の経済的な負担を軽減することによって、安心して保育・医療サービスの提供をうけることができるよう支援するとともに、第2子以降の出産への意欲を高めます。
- 乳幼児の健やかな発育と保護者の不安軽減を図るために、子育てをみんなで見守る体制づくりを構築します。
- 家庭における児童の養育や子育て世帯が抱える様々な相談に対応するために、地域の関係機関等と連携し相談支援体制の充実を図ります。
- 仕事と家庭が両立できる支援体制の構築や子どもの放課後対策など環境の充実を図ります。
- 全ての人が自ら希望するバランスで仕事をすることができる環境をつくり、女性や高齢者、障がいのある人など多様な人材が活躍できる社会づくりに取り組みます。
- 家事や育児など大きな負担を抱えながら働いている女性の負担を軽減し、社会で活躍できる環境づくりに取り組みます。

【SDGsのゴール】 ※事務局記入欄

重要業績評価指標（KPI）	実績値	基準値	目標値
	平成27(2015年)年度	令和1(2019)年度	令和6(2024)年度
産後ケア事業や家事支援における満足度	—	87.9%	98.0%
放課後児童クラブ利用定員数	230人	380人	580人
特定教育・保育施設における利用定員数	2,450人	2,400人	2,400人

【具体的な施策】

基本計画（改訂案）

- 1 妊娠から出産まで切れ目のない支援体制の充実
- 2 子育て世代の経済的な負担の軽減
- 3 子育て支援体制の充実
- 4 子育てと仕事の両立支援と環境の充実
- 5 子育てを社会全体で支援するワークライフ・バランスの推進
- 6 女性の活躍推進

重点プロジェクト

1-3 ふるさとを愛する心豊かな人づくりプロジェクト

【基本的な方向性】

- 若者の未来を後押しし、地域を支える人材を育てます。
- 地域社会の一員として郷土を愛し、すぐれた伝統を継承するため、郷土愛を育む教育を推進します。
- 子どもたちの「学力」と「生きる力」を向上させ、子どもたちが「喜んで住み続けたい」と思うまちにするために、産学官や地域の大人が連携し「日向の大人はみな子供たちの先生」をスローガンにキャリア教育支援事業「よのなか教室」を市民運動として推進します。
- 少子化が進んでも、市内の高校を存続させ、地域・社会に貢献できる人材を育てるために、学校・行政・産業界・地域住民が連携し、市内の高校の魅力向上や生徒の学びを支援します。
- 地域や産業を支え未来の日向市の原動力となる人財を育成するために、若者が自ら学び成長する場をつくります。
- 若者の自由で柔軟な発想をまちづくりや地域活動に生かすために、若者の新たなチャレンジを応援します。

【SDGsのゴール】 ※事務局記入欄

重要業績評価指標（KPI）	実績値	基準値	目標値
	平成 27(2015 年)年度	令和 1 (2019) 年度	令和 6 (2024)年度
高校3年生「愛着や誇りを感じる」と答えた生徒の割合	—	43.1%	50.0%
中学校2年生「将来日向市で働きたい」と答えた生徒の割合 ※要検討	38.5%	40.3%	42.5%
地域づくり人材活動参加者数 ※仮	●人	●人	●人

【具体的な施策】

- 1 郷土愛を育む教育の推進
- 2 キャリア教育の充実
- 3 高校・高等専門教育機関への支援の充実
- 4 若者（ワケモン）の活躍支援

基本計画（改訂案）

重点戦略 2

活力を生み出すにぎわいづくり

基本的な方向性

誰もが魅力を感じるまちになるために、企業誘致や起業支援などにより若者や女性などが活躍するしごとづくりに取り組むとともに、本市の特色（強み）を活かした稼げる仕組みを作り出し、新たな人の交流や流入によって活気と賑わいのあるまちづくりに取り組みます。

数値目標

指標名	実績値	基準値	目標値
	平成 27(2015 年)年度	令和 1 (2019) 年度	令和 6 (2024) 年度
新規企業の立地及び既存企業の増設等に伴う新規雇用者数（年間） ※要検討	159 人	60 人	100 人
新規就農者の累計人数	3 人	13 人	38 人
観光入込客数	1,402,000 人	1,486,000 人	1,620,000 人

重点プロジェクト

2-1 活力を生み出す「しごと」づくりプロジェクト

【基本的な方向性】

- 中小企業や小規模事業者の事業を守るとともに、若者や女性などが活躍できるしごと（雇用の場）を生み出し、産業人材の確保に取り組みます。
- 新たな企業誘致や地元企業の事業拡大等により、雇用の確保と地域経済の活性化を図ります。
- 女性や若者がいきいきと働き暮らせるよう多様な求職ニーズやスタイルに対応した場所を創出します。
- 地元企業の販路拡大や新たな分野への進出、若者や女性の起業を後押しするために、コーディネーターを配置し、細やかな経営相談とフォローアップを行います。
- 都市部への人口流出を抑制し、U・I・Jターンを促進するために、高校生・大学生、都市部の地元出身者に向けた情報発信や都市部での就職説明会を開催します。

【SDGsのゴール】 ※事務局記入欄

重要業績評価指標（KPI）	実績値	基準値	目標値
	平成 27(2015 年)年度	令和 1 (2019) 年度	令和 6 (2024) 年度
新規企業の立地及び既存企業の増設等の件数	7 件	5 件	5 件
新規企業の立地及び既存企業の増設等に伴う新規雇用者数（年間）	159 人	60 人	50 人

基本計画（改訂案）

【具体的な施策】

- 1 若者や女性が活躍できる企業誘致の推進
- 2 中小企業、小規模事業者への支援
- 3 産業人材の確保と誰もが働けるしごと環境の充実

重点プロジェクト

2-2 強みを活かした「稼げる」産業振興プロジェクト

【基本的な方向性】

- 本市の特色（強み）を活かした産業の振興により、稼げるまちづくりに取り組みます。
- 重要港湾「細島港」の定期航路の充実と利用促進を図ります。
- 医療機器産業に対する研究開発支援や次代を見据えた強い産業の事業拡大、企業立地を支援します。
- 将来にわたって日向入郷圏域から安定した木材供給を行うために、道路網や森林等の整備を促進するとともに、不足する苗木の生産体制を構築し、森林資源の循環や雇用創出等につなげます。
- **農業に関する記述**
- 市が誇る地場産品の6次産業化や農商工連携、産学官連携による高付加価値化を推進し、ふるさと寄附金制度等を活用した地場産品の流通拡大を図ります。

【SDGsのゴール】 ※事務局記入欄

重要業績評価指標（KPI）	実績値 平成 27(2015)年 年度	基準値 令和 1(2019)年 年度	目標値 令和 6(2024)年 年度
コンテナ貨物取扱量（空コンテナを除く）	21,131TEU	21,411TEU	23,000TEU
年間造林面積	70ha	48ha	65ha
農地中間管理事業累計実施面積	28.1ha	80.6ha	135.0ha
J A日向におけるへべすの年間出荷量	66.0 トン	83.0 トン	200.0 トン
養殖イワガキの生産量	8.8t	32t	42t
ふるさと日向市応援寄附金 事業者数	件	件	件
観光4駅の年間売上高 ※要件等			

【具体的な施策】

- 1 細島港の機能強化と物流の促進
- 2 「みなとオアシスほそしま」による賑わいづくり
- 3 強みを活かした新たな産業の拡大
- 4 資源循環型林業システムの推進
- 5 農業の魅力向上・効率化支援
- 6 地場産品の流通拡大とふるさと寄附金制度の充実

重点プロジェクト

2-3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト

【基本的な方向性】

- 本市の豊かな自然環境などの魅力を生かし、観光交流人口の増加や移住、関係人口の増加により、新しい人が流れ込み、活気と賑わいのあるまちづくりに取り組みます。
- 国内外への観光プロモーション活動による知名度アップや広域で連携した観光ルートの開発等に取り組みます。
- 温暖な気候と良質な波により1年を通してサーフィンが楽しめる自然環境を活かしたプロモーションを展開し、交流人口や移住者の増加に取り組みます。
- 「牧水のふるさと日向市」や国の重要伝統的建造物群保存地区美々津のまち並みを活かした観光の増加や空き家・空き店舗等に利活用による賑わいの創出、定住人口の増加を図ります。
- 全国でも有数の日照時間を誇る恵まれた自然環境を活かし、プロ野球などのキャンプ合宿やスポーツ大会など誘致し、交流人口の増加やスポーツを地域資源とした地域の活性化を推進します。
- イベントやふるさと寄附金制度などを通して関わりを持った市外の方が本市を応援し、再び訪れてもらえる関係性を構築します。

【SDGsのゴール】 ※事務局記入欄

重要業績評価指標（KPI）	実績値	基準値	目標値
	平成27(2015)年 年度	令和1(2019)年 年度	令和6(2024)年 年度
サーフィン等利用客数	人	人	人
市内宿泊者数	158,000人	172,000人	188,000人
新たな移住者数	25人 ※H28	234人 (H28~R1年)	320人 (R3~6年)

【具体的な施策】

- 1 地域資源を活かした観光交流の推進
- 2 広域観光圏による観光ルートの磨き上げと観光交流の拠点づくり
- 3 リラックスサーフタウン日向の推進
- 4 牧水の生誕地・東郷を活かした魅力づくり
- 5 重要伝統的建造物群保存地区「美々津」を活かした魅力づくり
- 6 スポーツタウン日向の推進
- 7 移住定住の促進
- 8 関係人口の創出

基本計画（改訂案）

重点戦略 3

笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり

基本的な方向性

高齢者になっても住み慣れた地域において、笑顔で健康にいきいきと暮らし続けられるよう、地域社会全体で支え合えるまちづくりに取り組みます。

数値目標

指標名	実績値	基準値	目標値
	平成 27(2015 年)年度	令和 1(2019) 年度	令和 6(2024)年度
65 歳以上人口に占める要介護（支援）認定者（第 1 号）の割合（％）	15.6%	13.4%	13.4%
大腸がん検診受診率	9.4%	7.8%	12%
スポーツ施設の利用者数	248,603 人	233,817 人	234,000 人
自治会（区）加入率	67.8%	67.4%	68.0%

重点プロジェクト

3-1 住みなれた地域で暮らせる社会づくりプロジェクト

【基本的な方向性】

- 持続可能な地域医療・救急体制を確保し、高齢になっても住み慣れた地域で住み続けられるまちづくりに取り組みます。
- 高齢者が住み慣れた地域で可能な限り自分らしい生活を送れるように、医療や介護・福祉サービスなど様々な生活支援サービスを適切に提供できる体制を構築します。
- 認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた環境の中で暮らし続けられるよう支援体制を構築します。
- 持続可能な地域医療を目指し、東郷診療所の充実や医師確保、老朽化した施設の整備に取り組みます。
- 救急体制を強化することにより、市民が安全で安心して生活できる環境を構築します。
- （障がいのある人への支援策の方向性を記述します）

【SDGs のゴール】 ※事務局記入欄

基本計画（改訂案）

重要業績評価指標（KPI）	実績値	基準値	目標値
	平成 27(2015 年)年度	令和 1 (2019) 年度	令和 6 (2024)年度
シルバー人材センター会員数（人）	430 人	453 人	470 人
いきいき百歳体操設置地区（数）	5 地区	76 地区	90 地区
日向入郷医療圏域の救急医療体制 （初期救急診療体制：月曜～金曜の夜間） （二次救急医療体制：休日や夜間）	整備済み (243 日) (365 日)	整備済み (240 日) (365 日)	安定維持
新たな診療施設の整備	—	—	供用開始

【具体的な施策】

- 1 元気な高齢者の居場所づくり
- 2 地域包括ケアシステムの深化
- 3 認知症対策の充実
- 4 地域医療・救急体制の充実
- 5 障がいのある人への支援の充実

重点プロジェクト

3-2 笑顔で暮らせるスポーツ・健康推進プロジェクト

【基本的な方向性】

- 子どもから高齢者まで、健康でいきいきと元気に暮らし続けられるまちづくりに取り組みます。
- 市民一人ひとりが健康に関する意識を高め、生活習慣の改善に取り組めるよう「健康寿命の延伸」や「生活習慣病の発症予防と重症化予防」に向けた健康づくりに努めます。
- 自殺を予防するために、不安や悩みを抱えた人が相談できる場所づくりやこころの健康についての知識普及・啓発に努めます。
- 新型コロナウイルスや新型インフルエンザなど感染症に対する正しい知識を広め感染症予防に努めるとともに、発生した場合の蔓延防止に取り組めます。
- スポーツを活かした市民の生きがいづくりや健康づくりに取り組みます。

【SDGs のゴール】 ※事務局記入欄

重要業績評価指標（KPI）	実績値	基準値	目標値
	平成 27(2015 年)年度	令和 1 (2019) 年度	令和 6 (2024)年度
特定健診受診率	%	%	%
小学生の歯科治療率	%	%	%
市主催のスポーツ教室等への参加者数	1,030 人	856 人	920 人

【具体的な施策】

- 1 健康づくりの推進
- 2 自殺予防対策の充実
- 3 感染症予防対策の推進
- 4 スポーツを活かした生きがいづくりや健康づくり

重点プロジェクト

3-3 共に支え合う地域づくりプロジェクト

【基本的な方向性】

- 互いの文化や価値観を認め合い、誰もが地域で支え合いながら、安心して暮らし続けられるまちづくりに取り組みます。
- 健康福祉や子育て支援、防災活動などに地域住民が主体となって取り組むことにより、地域コミュニティの維持を図り、地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。
- 人口減少が進んでも地域住民の活動拠点、交流拠点としての機能を果たせるよう公立公民館の機能強化を図ります。
- **多様性を認め合う共生社会の実現に関する記述**

【SDGsのゴール】 ※事務局記入欄

重要業績評価指標（KPI）	実績値	基準値	目標値
	平成27(2015年)年度	令和1(2019)年度	令和6(2024)年度
男女共同参画に関する講座等の参加者数	275人	384人	500人
国際交流事業への参加者数	145人	227人	260人
過疎地域振興基金事業補助金を活用した事業数	7	6	7

【具体的な施策】

- 1 地域コミュニティの維持、支援
- 2 公立公民館の機能強化
- 3 多様性を認めあう共生社会の実現

基本計画（改訂案）

重点戦略 4

自然豊かで快適な強いまちづくり

基本的な方向性

誰もが安心して暮らせる強いまちづくりを進めるため、豊かな自然環境を守るとともに、自然災害から市民の命と財産を守るために、自助・共助・公助による災害対応力の強化に取り組みます。

また、人口減少が進んでも、住み慣れた場所で快適に住み続けられる環境を維持するために、利便性の高いコンパクトなまちづくりや交通ネットワーク、情報ネットワークの構築に取り組みます。

数値目標

指標名	実績値	基準値	目標値
	平成 27(2015 年)年度	令和 1(2019) 年度	令和 6(2024)年度
地域防災訓練などへの参加者数	6,961 人	19,780 人	25,000 人
老朽化が著しい空き家の件数	299 件 (H29)	258 件	150 件
光ファイバ利用可能世帯率	94.8%	96.0%	100%
ごみ総排出量のうちのリサイクル率	22.49%	21.54%	25.00%

重点プロジェクト

4-1 助け合い災害に強いまちづくりプロジェクト

【基本的な方向性】

- 防災基盤の強化を図るとともに、自助・共助・公助の精神に基づき、地域で助け合う災害に強いまちづくりに取り組みます。
- 安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりを目指します。

【SDGs のゴール】 ※事務局記入欄

重要業績評価指標 (KPI)	実績値	基準値	目標値
	平成 27(2015 年)年度	令和 1(2019) 年度	令和 6(2024)年度
市防災情報配信サービス登録者	—	約 1,700 人	約 2,200 人
消防団員の定数に対する充足率	93.2%	94.2%	100%

【具体的な施策】

- 1 自主防災力の向上
- 2 国土強靱化の推進

重点プロジェクト

4-2 便利で住みやすいまちづくりプロジェクト

【基本的な方向性】

- 人口減少が進んでも、住み慣れた場所で快適に住み続けられる利便性の高いまちづくりに取り組みます。
- 日向市駅周辺の公有地や空き地を有効活用し、中心市街地の活性化を図ります。
- 市民が自由に移動できる交通手段を確保するため、地域公共交通網の利便性向上に取り組みます。
- 地域間の情報格差を縮減し、高速で快適な通信環境を整備します。Society5.0時代に対応した情報通信技術の活用を促進します。

【SDGsのゴール】 ※事務局記入欄

重要業績評価指標（KPI）	実績値	基準値	目標値
	平成27(2015年)年度	令和1(2019)年度	令和6(2024)年度
土地区画整理事業区域内の新築・増築件数（累計）	61件	276件	390件
日向市道路整備実施計画で予定している市道のうち、道路改良が完了した路線数（第3期・第4期）	1路線	2路線	5路線
市民バスの年間利用者数	52,639人	81,096人	80,187人

【具体的な施策】

- 1 快適で便利な都市・生活拠点の整備
- 2 地域公共交通対策事業
- 3 情報通信基盤の整備と利活用促進

重点プロジェクト

4-3 自然が残る美しいまちづくりプロジェクト

【基本的な方向性】

- 本市の豊かな自然環境を後世に残すために、自然環境を守り、環境に優しいまちづくりに取り組みます。
- 持続可能な開発目標（SDGs）の目標達成に向けて官民で連携して取り組みます。
- 本市の宝である海岸線の地域資源を活かした良好な美しい景観形成を図ります。
- 市民生活に影響を及ぼす空き家の適正な管理や利活用に取り組みます。

【SDGsのゴール】 ※事務局記入欄

基本計画（改訂案）

重要業績評価指標（KPI）	実績値	基準値	目標値
	平成 27(2015 年)年度	令和 1 (2019) 年度	令和 6 (2024)年度
年間のごみ総排出量	21,970.22 t	21,541.66 t	20,059.00 t
クリーンアップ日向上に参加した人数	2,043 人	595 人	600 人
SDGs セミナー参加者の満足度	—	%	%
市を連携した植栽・花づくり活動への年間参加者数（累計）	1,030 人	5,518 人	11,000 人

【具体的な施策】

- 1 自然に親しむ環境づくり
- 2 ひゅうが海景の形成
- 3 空き家の適切な管理と利活用